



### たくさん笑って健康に

笑いと健康を取り入れた「とっておきの学習会in米山」が2月21日、米山農村環境改善センターで開かれ、地域住民約120人が参加しました。講師は仙台市在住で、健康生きがづくりアドバイザーの資格を持つ斎藤政昭さん。安来節に合わせて「どじょうすくい男踊り」を自ら披露し、終始笑いの絶えない学習会でした。

### 毎年恒例の奉仕活動

開校以来毎年続けている上沼高の奉仕活動が2月27日、上沼地区で実施され、農業科、環境土木科生徒の82人が参加しました。活動は北上川河川敷のゴミ拾いと、上沼小とその周辺道路のテングス病枝駆除の2班に分かれ実施。テングス病に感染しているソメイヨシノの枝の切り落としなど、約1時間行いました。



### 交流を通して運動不足解消

豊里町老人クラブによる冬季ガンバルピックが3月2日、豊里多目的研修センターで実施されました。競技はダーツやゲートイン、吹き矢など室内でのニュースポーツ6種目。会員約270人が参加し、交流を深めながら競技しました。参加者には、ソニー宮城(株)豊里事業所から紅白まんじゅうが贈られました。



### 親子一緒にリズム遊び

石越子育て支援センターファミリーコンサートが2月16日、石越公民館で開催され、約100人の親子が参加しました。講師はNHK教育番組「おかあさんといっしょ」でお馴染みの谷口國博氏。音楽に合わせて指や体を動かすスキンシップの多い遊びや、スライド映像を使った語りなどで、親子のふれあいを体感していました。



園児の祖父母らによる餅つき

豊里幼稚園のPTA(親子ふれあい事業)で企画した「伝承文化に親しもう」が3月5日、同園で開催され、約200人の親子が参加しました。催しは3部構成で、昔から

伝わるこまやメンコ、竹トンボなどを使って、親子で一緒に遊びました。特に竹トンボが好評で、とても高く飛ばした親子もいました。続いて、園児の祖父母らの協力で昔ながらの臼ときねを使った餅つきが行われました。子どもたちは、大喜びで餅つきを楽しみました。最後は、石巻市出身で女優の鈴鹿景子さんによる「読み語り・言葉の玉手箱」がありました。一人芝居を交えながらの昔語り(方言)などが上演され、参加者は鈴鹿さんの幅広い表現力に魅了されました。

### 馴染み深い方言で昔語り

豊里で「伝承文化に親しもう」



石巻出身の女優鈴鹿景子さんが昔語りを披露しました

### 寒さに負けずみんなでジャンプ

迫森地区で元祖親子なわとび大会



寒さに負けず元気に跳びました

第30回迫森地区元祖親子なわとび大会(同地区子ども会育成会主催)が2月26日、森小学校屋内運動場で開催され、地域住民210人が参加しました。手軽にできるなわとびを通

して、健康づくりと親子と住民相互のふれあいを目的に、昭和52年から毎年実施されている恒例行事です。地区ごとの親子が8チームに分かれて、跳んだ回数を競う「長なわ団体とび」や跳び続けた時間を競う「持久とび」が行われました。また、「コミュニケーションとび」では、小学生から50代までが参加して、年代ごとに跳んだ回数の合計を競い合いました。まだ外は肌寒い季節でしたが、気持ちの良い汗を流し、地域住民の世代間交流を深めました。

### 連携捜査で安全安心な地域に

石越で管轄移管事務等引継式

警察署再編のため、石越地域がこれまでの若柳警察署の管轄から佐沼警察署に4月1日から移管されるのを受け、3月15日、石越総合支所で「管轄移管事務等引継式」が行われました。両署員や関係団体、行政

長ら約80人が出席。中村正七若柳警察署長から野村節夫佐沼警察署長に事務引き継ぎ書が手渡されました。続いて、石越町で重大な事件事故が発生した際に若柳署員が初動捜査や、パトロールに当たるなどの内容が記された捜査協力協定書に両署長が調印しました。野村署長は「住民の皆さんは管轄変更で不安もあるでしょうが、捜査などの体制づくりは万全です。安全安心な地域になるようまい進していきます」と抱負を語りました。



協定書にサインする野村署長(右)と中村署長